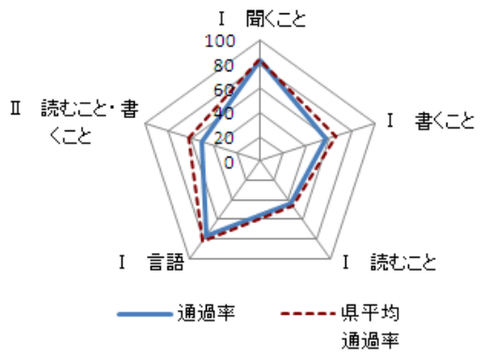
指導方法等の改善計画について　〔 国 語 〕

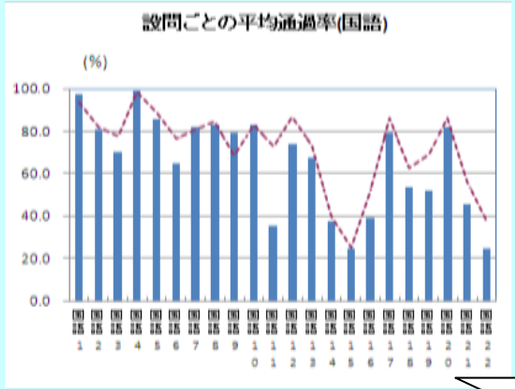
呉市立昭和中央小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　65. 4%, 県　71. 8%）

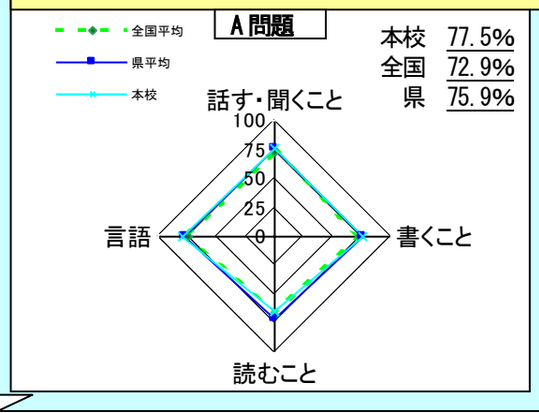
領域別平均通過率

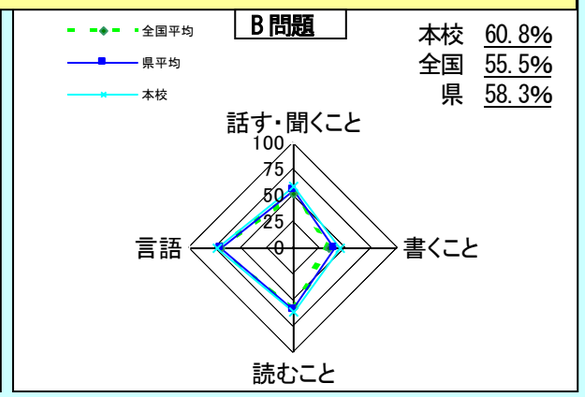


設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎タイプⅡ読むこと・書くことの「叙述に基づいて想像する」問題において，メモの記述と対応させて表現の工夫を捉えたと考えられ，どんどん桜が咲いていく様子と答えた児童が47%程度いる。（通過率51.9%）
◇A問題「新聞の投書を読み，表現の仕方を捉える」問題において，問題文の「意見」から，表現の仕方を「自分の考えに反対する具体的な意見」と答えた児童が３０%程度いる。（通過率56.6%）
※タイプⅠ読むことの「段落相互の関係の把握」問題において，接続詞に着目して段落相互の関係を捉えることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎詩の指導においては，音読を徹底することで言葉のリズムや言葉の響き合いなどを感じとらせるとともに，表現の工夫を捉えるための学習用語（繰り返し・擬人法・擬態語・倒置法・仕組み等）とその表現の工夫の効果や工夫を見つける具体的な方法などを教え，身に付けさせるようにする。
◇朝の会のスピーチタイムに新聞の投書に対する感想を述べる取組を継続するとともに，複数の投書を比べて読む学習活動を取り入れることにより，書き出し，文末表現，内容構成などの表現の工夫を捉えることができるようにする。
※説明的文章において，小学校低学年から段落の役割（問い・答え・説明・前書き・補足など）を確認したり「キーワード」「接続語」「文章表現」を意識したりさせて段落と段落の関係を考えさせる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 小テスト		4・5年生 学期末テスト	4年生 H26「基礎・基本」		4・5年生 学年末テスト
目標値		７０%		８０%	７５%		８０%
実施後数値							

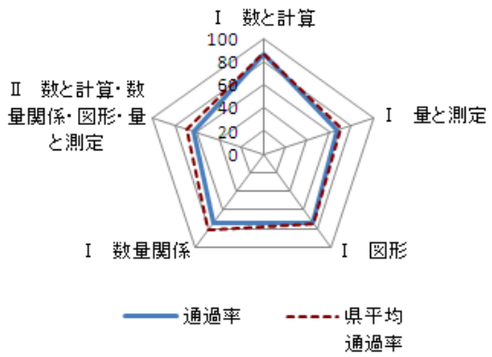
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年生 小テスト		5年生 H26「全国学力A問題」		5年生 学年末テスト
目標値			７０%		７０%		８０%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について　〔 算 数 〕

呉市立昭和中央小学校

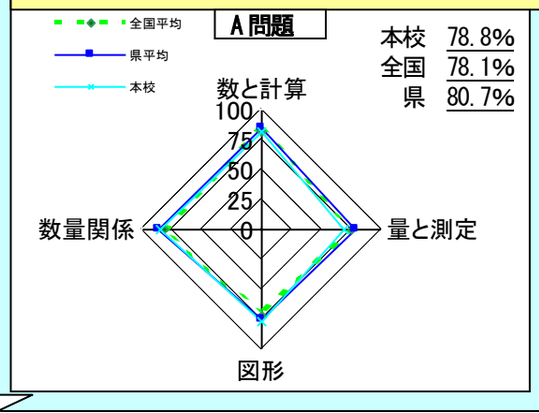
「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　74. 3%, 県　78. 0%）

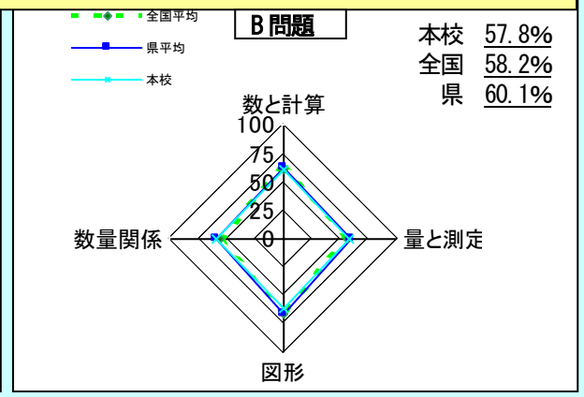
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率

全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎①タイプⅡ「自分の考えや解決方法を言葉や式を使い，筋道立てて説明する」問題（通過率33.8%）であり，自分の考えを筋道立てて説明することに課題がある。誤答としては，順序立てて説明することができないことや，何を求めた式なのか言葉で十分に説明に説明していないことが多く見られた。

◇「1㎤㎝の立方体を基に，示されている直方体の体積を求める」問題（通過率69.7%）であり，体積の単位（1㎤）と測定について十分理解していないことが課題である。誤答としては，面積を求めている（11%），体積の意味を理解していない（16%）などが見られた。

※　数学の用語の意味を正しく理解し，適切に用いながら筋道を立てて自分の考えを説明することに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎言葉や数，式，図，表，グラフなどを関連付け，説明する力を授業の中で付けていく。そのために，順序を表す言葉を使って説明させたり，「～だから～」等と考えの根拠を明らかにして説明させたりしていく。説明の仕方を教え，何を求めた式なのか書かせるようにしていく。

◇直方体の体積を一辺が1㎝の単位体積の立方体を用いて測定ができるようにしていく。1㎤の立方体を用いて直方体を構成する算数的活動を通し，その体積を計算で求めさせ，体積の意味や体積を求める公式の意味が理解できるようにしていく。

※数学の用語の意味を理解させ，用語を利用して説明する場面の設定をする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 小テスト		4・5年生 学期末テスト	4年生 H26「基礎・基本」		4・5年生 学期末テスト
目標値		６０％		８０％	７５％		８０％
実施後数値							

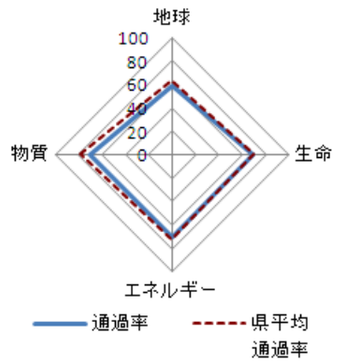
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			6年生 小テスト		5年生 H26「全国学力A問題」		5年生 学年末テスト
目標値			８０％		８０％		８０％
実施後数値							

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

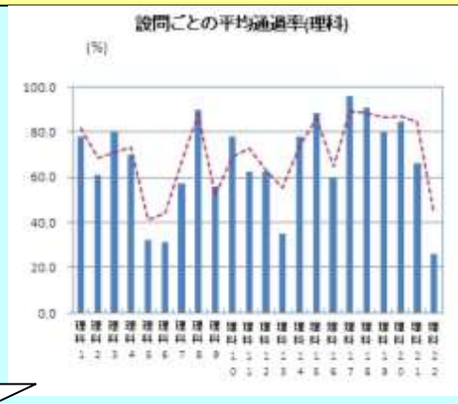
呉市立昭和中央小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　66. 5%, 県　70. 6%）

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①「ゴムの力によるものの動く様子の違い」（通過率 35.1%）で結果を表すグラフから根拠を見つけ，数値を使って筋道を立てて説明することができていない児童が 53%程度いた。
◎②「金属の温度変化と生活との関連」(通過率 26.0%)で，「レールは」（主語）がない児童 15%程度，正答の条件に対し，いずれか一つかけているため説明が不十分となっている児童が 17%程度いた。
※基本的な実験操作やまとめる力に問題があるので，問題からその関係を捉えることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎①実験・観察結果をまとめて考察する際，意見を出し合う前に，各個人で根拠となる数値・観察記録等に印をつけ，根拠を明らかにして考えを文にまとめさせ，話し合うようにする。

◎②学習をまとめるとき，条件（主語，主語と述語の整合，根拠（数値等）等）を設定し，説明が不十分とならないようにさせたり，キーワードを必ず文に入れさせたりする。

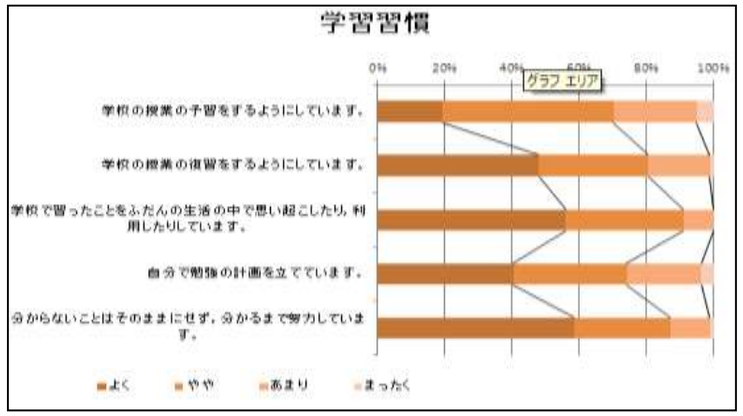
※実験の際に，実験の目的・操作の意味をしっかりと考えさせるとともに，実験操作の徹底を行っていく。

◎「基礎・基本」①	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学年・方法		4年生 H25「基礎・基本」抜粋		3・4・5年生 学期末テスト	4年生 H26「基礎・基本」		3・4・5年生 学年末テスト
目標値		７０％		８０％	７５％		８０％
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学年・方法		4年生 H25「基礎・基本」抜粋		3・4・5年生 学期末テスト	4年生 H26「基礎・基本」		3・4・5年生 学年末テスト
目標値		７０％		８０％	７５％		８０％
実施後数値							

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

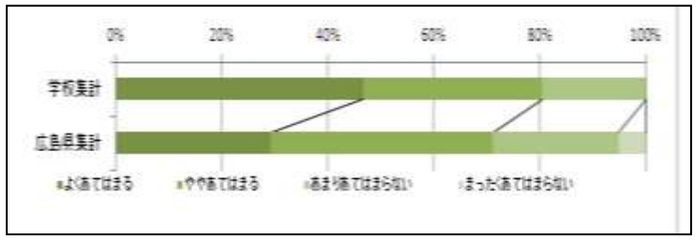
（１）生活・学習



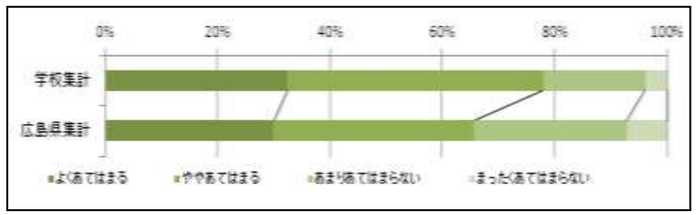
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	・７０．１%の児童が予習を行い，７４．１%が自分で学習の計画を立てている。	・家庭学習の内容の充実を図るため，家庭学習の計画を立てさせ主体的に予習・復習に取り組ませる。	５	８０%	児童アンケート 自学ノート	２月		
全国	・４７．７%の児童が学校の授業などで自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりしたりすることは難しいと回答している。	・授業において自分の考えを明確にもたせるために書く活動を取り入れる。また，型を示し，それに当てはめて文章に書いたり説明したりするようにする。	６	６０%	児童アンケート	２月		

（２）教科

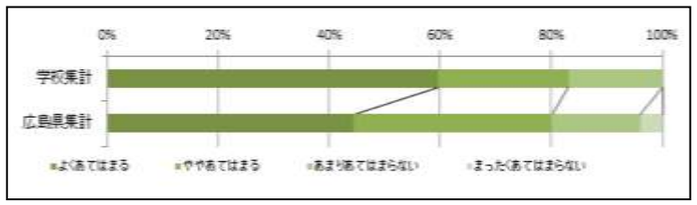
国語の授業では，伝えたいことの中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を考えています。



算数の授業では，とき方や考え方を話し合う時に理由をあげて説明しています。



理科の授業では，観察や実験を行うときは，その目的は何か意識しています。



		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	・８０．６%の児童が組み立てを意識しながら書いていると肯定的に回答している。	・書くことの授業において読むことの説明的文章の学習と関連付け構想メモを作り書かせる。	５	８５%	児童アンケート	２月		
	全国	・４２．１%の児童がB問題の調査問題の解答時間は十分であったと回答している。	・決められた時間の中で課題解決をするように指導する。	６	６０%	児童アンケート	２月		
算数	基礎・基本	・７８．０%の児童が理由を挙げて説明していると回答している。	・授業において学び合いたくなる状況や学び合わなければならない状況をつくる。〈校内研修〉	５	８５%	児童アンケート	２月		
	全国	・６７．１%の児童がＢ問題の調査問題の解答時間は十分であったと回答している。	・決められた時間の中で課題解決をするように指導する。	６	７５%	児童アンケート	２月		
理科	基礎・基本	・８３．１%の児童が目的を意識していると回答している。	・実験や観察の目的意識が持てるよう課題との関連を明確にする。	５	９０%	児童アンケート	２月		